

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年4月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4699400091
法人名	株式会社 フォーユー
事業所名	グループホーム ひだまり
所在地	鹿児島県大島郡和泊町国頭2959番地1 (電話) 0997-92-2398
自己評価作成日	令和4年3月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の長寿クラブに全利用者が入会し、毎月開かれる定例会には全員で参加、地域の方や友人知人との交流を楽しみにしていますが、今年は新型コロナウイルス感染症対策に伴い、定例会が開催されない月もあり、寂しく感じているところです。制限されることの多い生活に変わりましたが、コロナ禍でもできることをみつけ、調理レクやおやつレク、園庭でのお茶会やランチ、ホーム内の小さなイベントなどを取り入れ明るい雰囲気に包まれています。地域の方々も面会こそできませんが、野菜の差し入れや古新聞の提供など馴染みの関係は築かれています。ケアの面でも落ち着いた環境の中で、穏やかに過ごして頂けるように声かけやコミュニケーション等常に心がけています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・職員は理念をもとに日々のケアに取り組んでおり、個々に寄り添ったケアを目指している。
- ・長寿クラブにも利用者全員が所属し、定例会にいつも参加していたが、今年はコロナ禍で自粛している。事業所でのイベントや散歩時の挨拶・野菜の差し入れ等、馴染みの関係や地域とのつながりを大切に思い、工夫して取り組んでいる。
- ・運営推進会議の開催が対面や書面であったが避難訓練を消防署や地域の方の協力を得ながら開催している。
- ・協力医療機関や訪問看護師との連携で緊急時の対応体制が整っており、健康面でも安心できる。
- ・排泄についてもチェック表を使いながらトイレでの排泄への自立支援への取り組みを行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に理念に基づいたケアを心がけています。	理念は事務所・玄関・ホールの見えるところに掲示している。毎月の職員会議で理念の振り返りをしながら共有し実践している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	学校行事、長寿クラブ定例会、字行事などに参加し地域の中に積極的に参加しています。	地域の長寿クラブに所属し定例会に参加しているがコロナ禍で現在自粛している。散歩時のあいさつや野菜の差し入れ等がある。10月に事業所の庭で仮装してハロウィンを行って楽しんだ。地域からの相談に応じている。コロナがおさまれば地域との活発な交流も計画している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	家族や地域の方々からの認知症に関する相談にのっています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の状況やホームの日常の様子を紹介し、感想や助言をいただきケアに活かしています。	コロナ感染防止対策を行い、運営推進会議は対面開催や書類開催を実施している。避難訓練を運営推進会議の前に行った。園庭が砂利で車いすが押しにくいとの意見があり、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>常に連携していて、ホームの実情についても理解していただいていると思います。</p>	<p>役場の職員とは連携を密にとっており、事業所の実情を相談したり情報を聞き、協力関係ができています。研修会のお知らせもある。保健師を講師に招き勉強会も行っている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員会時に研修会を持ち、拘束のないケアを行えるようにしています。玄関などの鍵は、夜間帯のみ防犯の為に施錠しています。</p>	<p>マニュアルを基に、勉強会を実施している。チェック表を毎月検証している。言葉については、その時々職員間でお互いに注意している。昼間は玄関の施錠はしていない。外出希望者には見守りをしながら周辺の散歩を一緒に行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>月に一回「虐待の芽チェックリスト」を行うことで、常に意識して業務に向かい虐待防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>勉強会はしていますが、利用している方は現在いません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に十分時間を取り、わかりやすく、理解できるように説明し、改定時には、文書と面接で説明しています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時に伺ったり、苦情受付や、ご意見箱を設置、運営推進会議にも参加いただいています。</p>	<p>利用者とは話しかけて思いを聞いている。家族とは窓越しの面会時に意見や相談を受けている。夜寝れずにソワソワしていた利用者が安心して過ごせるようになった事例がある。意見や相談は職員で話し合っ運営に反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会で意見をまとめ、検討して、本社とも相談の上反映できるようにしています。</p>	<p>毎月の職員会議で意見を聞いている。ケアに関することが多い。職員補充の要望を経営者に相談し、職員の意見を運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格や勤務実績を考慮した給与体系を就業規則で公表しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>本社とのリモート研修やOJTの活用、個々の力量にあった指導を行っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今年度はコロナ禍にあり、同グループ事業所内での研修会への参加しかできていません。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安なく安心して過ごせるように関係づくりに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約前の見学や、契約時に時間を十分とり、不安なく施設での生活が始められるように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人、ご家族の意見や、本人の状態の把握に努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>御家族の方の面会や電話対応時に近況を伝えるなど関係を築いています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>地域の長寿クラブ定例会や外出支援に努めています。</p>	<p>家族との面会は窓越しの面会をしている。知人や友人・家族との連絡は電話を活用している。スマホで顔を見ながら話をする利用者もいる。馴染みの美容師に訪問してもらったりして、馴染みの関係が途切れないように支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>仲良く過ごせるよう声かけをしたり、積極的に話しかけたりと目配りしています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>季節の挨拶状や、ホームへの訪問など、関係性は続いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	これまでの生活歴を考慮し、思いや要望を聞き取り、本人らしきが出るように支援しています。	入所が決まった時に、生活歴等を本人や家族・ケアマネジャーに聞いている。利用者はお茶の時間や洗濯物をたたんでいる時等に意見や意向を聞いている。意思疎通の困難な場合は、家族に聞いたり動作や表情などにより本人の思いを職員で話し合い気持ちに添うように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族、ケアマネジャーから、多くの情報を得るようにしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	できること、したいことをして頂き、落ち着いた中で過ごしてもらえるように努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題が見つかった時にはスタッフ、管理者に相談、毎月の職員会で個々の状態を確認し支援方法を考えている。また、ご家族の面会時に開催したりしています。	毎月の職員会議の中で個々のケアについて話し合いをしている。主治医よりアドバイスを得て介護計画を作成している。モニタリングは毎月、更新時や3ヶ月毎に介護計画の見直しを行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>記録を参考にしたり、全職員が共有できるようにしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>職員会議で話し合い、対応できるように努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>長寿クラブへの参加や、こども園との交流など地域を交えた催し物や、ボランティアの受け入れを行っています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>訪問診療時（月2回）は、ホームで対応し、緊急時には御家族に連絡、一緒に受診。必要時には往診もして頂き、安心を提供しています。</p>	<p>協力医療機関がかかりつけ医になっている。月2回主治医が往診に来ている。他科受診の際は職員が送迎し医療機関で家族と待ち合わせをしている。緊急時はいつでも対応できる体制があり家族にも連絡し受診している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護師（月2回）に、状態を報告したり、相談したりしています。また、何時でも連絡が取れ、連携できる体制です。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>情報交換を行い、関係づくりを行っています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医、家族との話し合いを行い共通理解のもと行っています。</p>	<p>契約時に説明をして同意書をもっている。マニュアルを基に支援している。食事がとれなくなった時点で段階的に家族は主治医と話し合い説明を受けて家族が判断している。ホームで自然な形での看取りを希望する方が多い。主治医に往診してもらい家族にも泊まってもらいながら事業所でできる事の説明をし看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>DVD研修や消防職員による講習会を実施しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>職員と利用者だけの訓練、地域の方々を交えた訓練を行っています。</p>	<p>年2回避難訓練をしている。1回は消防署の協力をもらって、消防団や地域の方の参加で実施している。1回は自主訓練を行っている。防災用具の点検や非常食の見直しもしている。災害時の備蓄は水・米・ヌードル・レトルト食品・乾物等を3日分、準備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々に配慮した言葉かけや、ケアを心がけています。	マニュアルを基に、利用者にさん付けで、名前は名字で呼んでいる。入室時は声掛けとノックをしている。トイレ誘導時は小さな声で話かけ配慮して対応し、カーテンをして時々確認をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者主体のこえかけを行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々にあった生活への配慮を努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	主体性を大切にしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や配膳、片付けも一緒にするように心がけています。	食事形態に配慮して個々に応じて職員で刻んだりしている。誕生日には手作りケーキを作っている。野菜の皮むきや配膳・片付け等を利用者と一緒にして、食事が楽しめるように支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事形態、水分量、食事量を把握したうえでメニューの工夫やトロミ材、補食を取り入れています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後行っています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表で状態を確認して、個々にあった支援をしています。</p>	<p>排泄チェック表により、時間ごとのトイレ誘導をしている。日中はトイレでの排泄を目指している。車いすの利用者も日中はトイレでの排泄の自立支援を行っている。退院の際はオムツ使用者が多く、トイレ誘導を繰り返す事で夜間のみリハビリパンツ使用になった事例がある。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎朝の牛乳や、水分を多くとってもらい工夫をしています。また午前、午後に体操を取り入れ体を動かすようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	湯船につかったり、足湯をしたりしています。2日に1回は入浴できるようにしています。	入浴は週3回を基本としているが毎日入浴の希望者もいる。シャワー浴や足浴も行っている。入りたくない利用者には順番を変えたりタイミングを見て再度声掛けをして、入浴が楽しめるように支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	季節ごとに寝具を変えたり、落ち着ける空間を作り、湯たんぽや加湿器の使用もしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院や薬局と連携して行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	できること、好きなこと、得意なことを生かせるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ禍にあり、これまでのような外出はできていないが、密にならない時間帯、場所への短時間での外出の支援を行っています。</p>	<p>年間計画を作成している。コロナ禍で外出が難しい時期もあったが人がいない時間帯に花見に出かけたり海岸通りをドライブしたりしている。庭でお茶したり公園へ散歩に出かける等の工夫をして、戸外に出かけられるように支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>支援しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>お届け物が届いたら必ず電話をかけて、本人と話していただいたり、手紙を出したりしています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者の作品を展示したり、季節の花を飾ったりして季節感を出しています。</p>	<p>ホールは明るく、毎朝窓を開けて換気を行なっている。空気清浄機を4台設置し、冬場は加湿器を使用している。ソファを置いたり、畳の間もある。季節の飾りや作品を掲示し、季節の花も飾って、居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールの畳の間で過ごしたり、ご本人が安心できる空間づくりや安全面を考慮しています。</p>			
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人の大切にしていたものや、好みのものを取り入れ、居心地の良い空間づくりを工夫しています。</p>	<p>ベッド・エアコン・タンス等の設置がある。筆筒は希望により提供している。布団やパッチワーク・テレビ・テーブル・ソファ等、本人の好みのものを活かして居心地よく過ごせる工夫をしている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>案内板を出したり、安全な生活ができるよう危険防止に土めています。</p>			

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない